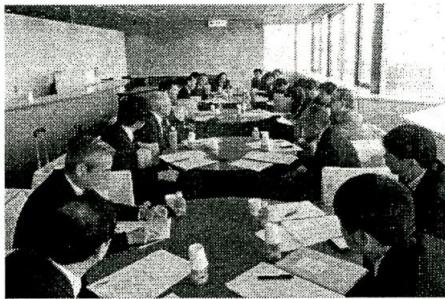


2014年(平成26年)

11月17日(月)

量産・コスト減で連携

近畿の金属プレス9社



13日に京都で開いた連携体のキックオフ

中小の付加価値アップ

車・部品サプライヤーへ提案

平安製作所(滋賀県高島市)など近畿地区の金属プレス加工中小企業9社は、量産化技術の開発を目指し、企業連携体「近畿モノづくりVA提案推進連携体」を結成した。大手自動車メーカーや同部品サプライヤーからの受注に向け、1社ではできなかった附加值化やコスト低減を図る取り組みを始めた。連携体の管理法人である京都高度技術研究所や中小企業基盤整備機構が支援する。

連携体は自動車産業の
金属プレスや鍛造などに
携わる9社で立ち上げ
た。平安製作所、阪口製
作所(京都市伏見区)、
ナミティ(大阪府東大阪
市)、富士金属(同豊中
市)、マツダ(大阪市城
東区)を核に、大手完成
品メーカーや大手部品
メーカーの量産化技術の課
題およびニーズを共有す
る。各社が蓄積してきだ
知識や固有技術を基盤と

して、お互いの技術を開
示。経営資源を共有する
ことで、固有技術を発展
させながら解決策を見つ

けて提案する。

初年度はエクセディ向
けに、部品のコスト削減
などを同連携体メンバー
が共同提案する。メンバ
ーは提案に先立ちエクセ
ディを訪問し、同社の分
解部品の説明を受け改善
できる部品など検討。18
日に数件を共同提案す
る。その後、見本品を製
作するなど具体的に進め
ていく。

連携体事業は3カ年計
画で実施する。2年目以
降は自動車の完成品メー
カーやほかに医療・航空
機産業など他産業にも手
を挙げて量産化技術を連
携提案していく。将来は
自立した独立法人化を検
討する。今後はさらに連
携参加中小企業を20社ま
で増やしたい考えだ。

国内自動車産業など大
手完成品や大手部品メー
カーや中小の部品サプラ
イヤーに期待することは
低いコスト化や軽量化を目
指した樹脂化の傾向にあ
るという。一方、中小企業
は固有技術の高度化を図
っているが、1社での対応
が困難な状況にあった。